

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年12月04日

計画の名称	平塚市防災・安全公共下水道整備計画（第 期）											
計画の期間	令和 0 3 年度 ~ 令和 0 7 年度 (5年間)											
交付対象	平塚市											
計画の目標	下水道施設の長寿命化や耐震化、並びに下水道による浸水対策を行うことにより、安全・安心な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	12,129	A	12,109	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.16 %

番号	定量的指標の定義及び算定式 計画の成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3	R5	R7
1	下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1/5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率）をR3（77%）からR7（784%）まで増加させる。 下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1/5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率） 整備済みの排水区面積 / 整備すべき排水区面積（計画全体3550.77ha）	77%	783%	784%
2	下水道の重要な幹線のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合（機能確保率）をR3（16%）からR7（17%）まで増加させる。 下水道の重要な幹線のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合（機能確保率） 機能確保済みの管渠延長 / 機能確保すべき管渠延長（全体延長199.5km）	16%	17%	17%
3	東部ポンプ場の耐震化率をR3（84%）からR7（100%）まで増加させる。 東部ポンプ場施設の耐震化率 耐震化済みのポンプ場施設数 / 耐震化すべきポンプ場施設数（計画全体 4 施設）	84%	100%	100%
4	ストックマネジメントに基づく管路施設改築の実施によりライフサイクルコストを概ね6.25億円/年縮減する。 ストックマネジメントに基づく管路施設改築の実施によるライフサイクルコストの縮減効果 標準耐用年数で全てを改築した場合と比較して、ストックマネジメントに基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合（試算対象年数は概ね 100 年） 実施済みの縮減効果 / 試算年数全体の縮減効果（試算対象年数全体の縮減効果金額 6 2 5 億円）	0%	3%	5%
5	ストックマネジメントに基づくポンプ場施設改築の実施によりライフサイクルコストを概ね4.6億円/年縮減する。 ストックマネジメントに基づくポンプ場施設改築の実施によるライフサイクルコストの縮減効果 標準耐用年数で全てを改築した場合と比較して、ストックマネジメントに基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合（試算対象年数は概ね 100 年） 実施済みの縮減効果 / 試算年数全体の縮減効果（試算対象年数全体の縮減効果金額 4 6 0 億円）	0%	3%	5%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R03	R04	R05	R06	R07		
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	-	下水道浸水対策事業	計画策定・設計	平塚市						615		-
	A07-002	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(雨水)	新設	下水道浸水対策事業	管渠布設 L=0.7km	平塚市						336		-
	A07-003	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	-	下水道総合地震対策事業	計画策定・耐震診断	平塚市						409		-
		下水道総合地震対策事業																	
	A07-004	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(合流)	改築	下水道総合地震対策事業	管渠耐震化・管渠更生・可とう管化 L=7.4km、マンホール浮上防止対策・目地部耐震補強対策 N=179基	平塚市						3,665		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
A07-005		下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	ポンプ場	改築	下水道総合地震対策事業	東部ポンプ場耐震化・桜ヶ丘ポンプ場耐震化	平塚市						657		策定済
		下水道総合地震対策事業																	
A07-006		下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	-	下水道ストックマネジメント事業	計画策定・調査・設計	平塚市						440		策定済
		下水道ストックマネジメント支援制度																	

A 基幹事業																							
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
下水道事業	A07-007	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(合流)	改築	下水道ストックマネジメント事業	管渠改築 L=0.8km	平塚市						930		策定済				
		下水道ストックマネジメント支援制度																					
	A07-008	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント事業	マンホールポンプ設備の更新 N=9箇所	平塚市						94		策定済				
		下水道ストックマネジメント支援制度																					
	A07-009	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	ポンプ場	改築	下水道ストックマネジメント事業	ポンプ場施設改築更新 機械・電気設備 N=46箇所	平塚市						4,577		策定済				
		下水道ストックマネジメント支援制度																					
	A07-010	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	新設	マンホールトイレスシステム整備事業	避難所へのマンホールトイレスシステムの整備	平塚市						150		策定済				
		下水道総合地震対策事業																					
	A07-011														小計			11,873					
水道・下水道事業	A07-011	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	ポンプ場	改築	下水道浸水対策事業	ポンプ場施設の耐水化	平塚市						180		策定済				
	A07-012	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	新設	下水道浸水対策事業	ゲート新設	平塚市						56		-				

A 基幹事業

C 効果促進事業																										
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況							
		一體的に実施することにより期待される効果															R03	R04	R05	R06	R07					
		備考																								
下水道事業	C07-001	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	-	下水道浸水対策事業	内水ハザードマップの整備、災害時応急復旧資機材の整備	平塚市						20		-							
		内水ハザードマップの公表により市民の自助による浸水対策を促す。可搬式ポンプの活用により機動的に浸水箇所の排水を行う。																								
																小計		20								
																	合計		20							

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	206	113	365		
計画別流用増 減額 (b)	15	0	17		
交付額 (c=a+b)	221	113	382		
前年度からの繰越額 (d)	169	205	46		
支払済額 (e)	185	272	217		
翌年度繰越額 (f)	205	46	211		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

事前評価チェックシート

計画の名称：平塚市防災・安全公共下水道整備計画（第一期）

(参考様式 3)

